

DeNA戦の7回、今季56号本塁打を打ち、記念のホームランを掲げるヤクルトの村上宗隆内野手。王貞治の55本を抜いて日本選手のシーズン最多を更新し、最年少22歳での三冠王にも輝いた。3日、神宮球場



プロ野球ヤクルトの村上宗隆内野手の22が3日、東京都新宿区の神宮球場で行われたレギュラーシーズンの今季最終戦で56号本塁打を打ち、1964年の王貞治（巨人）の55本を抜いて日本選手のシーズン最多記録を更新した。本塁打王に加えて打率3割1分8厘で首位打者、134打点で打

点王と打撃主要3部門のタイトルを独占する三冠王にも輝いた。（13、28面に関連記事）本塁打は王の記録に並んだ9月13日以来で、2013年にバレンティン（ヤクルト）がつくった60本の最多記録に次いで歴代単独2位となった。三冠王は04年の松中信彦（ダイエー）現

ソフトバンク）以来18年ぶり8人目（通算12度目）で令和初。セ・リーグでは1986年のバース（阪神）以来、22歳での達成は82年の落合博満（ロッテ）の28歳を上回る最年少記録。セは3日で全日程が終了。村上の本塁打王は2年連続2度目で、打点王と首位打者は初めて。

最終戦で達成 最年少三冠王も

村上王超え56号

①村上選手は今シーズン、何本の本塁打を打ちましたか。それはどんな記録ですか

本、日本選手の 記録

②村上選手は令和初の三冠王にも輝きました。空欄を埋めましょう

三冠王は 年ぶり 人目（通算 度目）。
22歳での達成は 記録

③あなたは今、何をがんばっていますか